

包装機の進化は



包装機械、

ハナガタから! オーダーメイドしませんか?

包装機械・シュリンクトンネル・包装ライン

JAPAN PACK

3ホール
3E-09

株式会社 ハナガタ

高速巻きスリーブ包装機
HS-C051本社・工場 〒939-8033 富山県富山市横内417
東京営業所・センター/ショールーム 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町12-7日本橋MMビル7F/1F TEL:03-6904-8831
大阪営業所・ショールーム 〒540-0034 大阪市大正区島田町2-4-9島田2階ビル7F/1F TEL:06-6949-0888
九州ショールーム 〒812-0004 福岡県福岡市博多区桜田2丁目2-52 TEL:092-472-4821
URL: http://www.hanagata.co.jp E-mail: sales@hanagata.co.jp

JPA大賞 表彰 29日17時半

併催企画「JAPAN PACK AWARDS (JPA) 2019表彰式」が29日17時半からオープニングセレブション内で行われる。17年の前回展以降に開発された出展製品を対象に、新規性、独創性、デザイン性、安全性、衛生性、省資源・省エネ性などを基準に大賞・優秀賞が贈られる(写真、前回の表彰式)。

候補製品の出展者は次の25社。イシダ、エムエスティ、エルコム、大森機械工業、オムロン、川島製作所、グローリー、光伸舎、コマツ製作所、システムスクエア、スズキマリン、ストラップ、東京自動機械製作所、東伸、東陽機械製作所(カナエ共同出品)、東洋自動機、トキワ工業、トタニ技研工業、なんつね、日本包装機械、富士インパルス、ホマックジャパン、



マスダックマシナリー、大和製衡、ユーキ。JPA大賞・優秀賞の受賞企業ブースを巡る「JPA 2019受賞企業ツアーア」、分野別の包装に携わる専門家が各出展者の製品・技術などを紹介する「包装専門家と巡る場内ツアーア」を実施する。各ツアーアは各回60分、先着20人で参加無料(登録サイトから事前申し込みが必要)。

JAPAN PACK 2019

協栄プリント技研
協栄プリント技研は、1967年に創立したプレス金型の設計・製造を中心とした金型メーカー。半世紀以上にわたりエレクトロニクス業界で培ったプレス金型技術、超精密加工技術を駆使して、電子機器、自動車部品、包装・製袋品などさまざまな分野に注力し、常に最先端の技術を追い求めている。2013年にはJISQ9100を取得し、高い品質管理システムを構築。同社は高機能フィルムや樹脂などのさまざまな素材を打ち抜く精密アーレス金型、フィルムインサート成形で使用される真空成形品を3次元形状にカットする金型、超音波ボーンを金型に組み込んだプレス金型、鏡面彫刻成型、精密微細加工部品などを展示する。

ハナガタ
ハナガタの「オーダーメイドしませんか?」をターゲットに掲げて出展する。顧客のニーズは近年クローズアップされている。「働き手不足」や「プラスチックゴミの問題」など、時流に合わせて変化し続けている。同社は変化し続けるニーズに対応できる幅広い包装機をラインアップして展示する。今回「高速巻きスリーブ包装機」を初展示するほか、「静電シール包装機」や「スリーブ包装機」「自動集積装置」など、時流を先取りしたバリエーションを紹介。また、バイオマス原料を使用した包装フィルムを装着した包装機の実演も予定している。

協栄プリント技研

ハナガタ

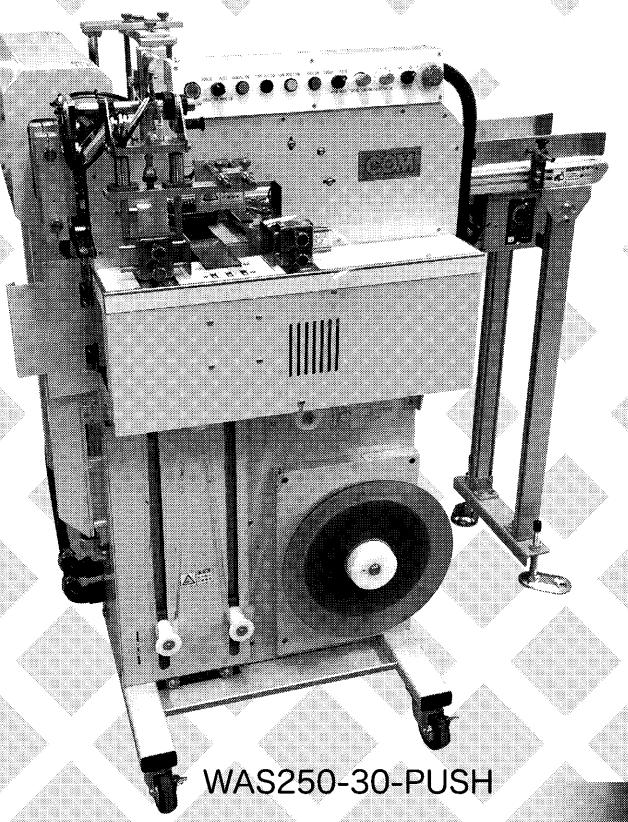
花塚製作所はステンレス製ポンプと定量充填機の専門メーカー。ステンレスループポンプ「CFシリーズ」は①低粘度から高粘度までの液体輸送に対応②接液部・駆動部の完全分離型で「分解・洗浄・組み立て」が容易③独自のメカニカルシールを採用し衛生的④吐出量の変化が少なく、任意設定が可能⑤自吸式で騒音がないーを特徴としている。

定量充填機は連続・間欠運転ともに安定した充填装置は、充填液の粘度に合わせて選べる。手動から運動、寸動、リピート運転まで、あらゆる運動サインに対応可能だ。

花塚製作所

シンク・ラボラトリ

シンク・ラボラトリーアーは水性インクジェットプリンタ「F-X-1」の最新モデルを発表する。搭載ヘッドの1200DPI(1dpi当たりのドット数化)で従来より高精細な印刷品質となり、フィルム基材の送給制御の改善と合わせて高品質を維持する。同社の5色の水性インクはP-E-T、OP-E-Tなど各種基材に対応し、グラビア印刷の小ロット需要をカバー。印刷速度は毎分40枚で、白無しなら毎分70枚程度の高速化も可能。印刷幅500mm(500mm×1000mm)のモデルに加え、夜間の自動基材交換ができるターレット搭載型も選択できる。出力品質サンプルの展示に加え、本社工場とライブ中継し、美術アートを予定する。



WAS250-30-PUSH

アンリツが
見守っています。

Products Quality Assurance



Anritsu envision:ensure

アンリツインフィビス株式会社

〒243-0032 神奈川県厚木市恩名5-1-1
TEL (046) 296-6700(代)

出展情報
JAPAN PACK
2019
10月29日~11月1日
7T-02



アンリツインフィビス

アンリツインフィビスの総合品質管理・制御システム「QUDICCA」は、複数の検査機器の測定データの記録や動作履歴を二元管理できることが特徴。I-O-Tの活用で品質や生産性を高めることを目的とした管理システムとなる。工場長や品質管理の担当者は検査機のコンベヤーのオンオフや製品カウンタ・NG数などの状況を過去からリアルタイムまで一覧で把握できる。また、パソコンやタブレット端末の画面を使用者の役割に応じてアレンジでき、必要な情報を素早く確認できる。生産分析のリポートを作成すれば、効果的な生産改善につながる。簡単に低コストで導入できることも利点だ。

近畿刃物工業は段ボール用刃物の専門メーカー。出展ブースでは紙器・フィルム加工用刃物や、個別ユーザーの要望に応え開発したオリジナル刃物などを展示する。主力の段ボール用では、スロッター上刃「トラストカッター」などを紹介。従来の鋸刃形状を改良し刃先をシャープにしたもので、紙粉の発生を抑え、刃物の長寿命化も図った。また「刃物交換の見える化」も提案。刃先摩耗部にミクロン単位の溝加工を施し、摩耗により溝が消えることで、ユーザーに刃物の取り換え時期を把握してもらう狙いだ。顧客の経験のみで判断していた刃物交換時期を可視化し、一日で認識できる。

近畿刃物工業

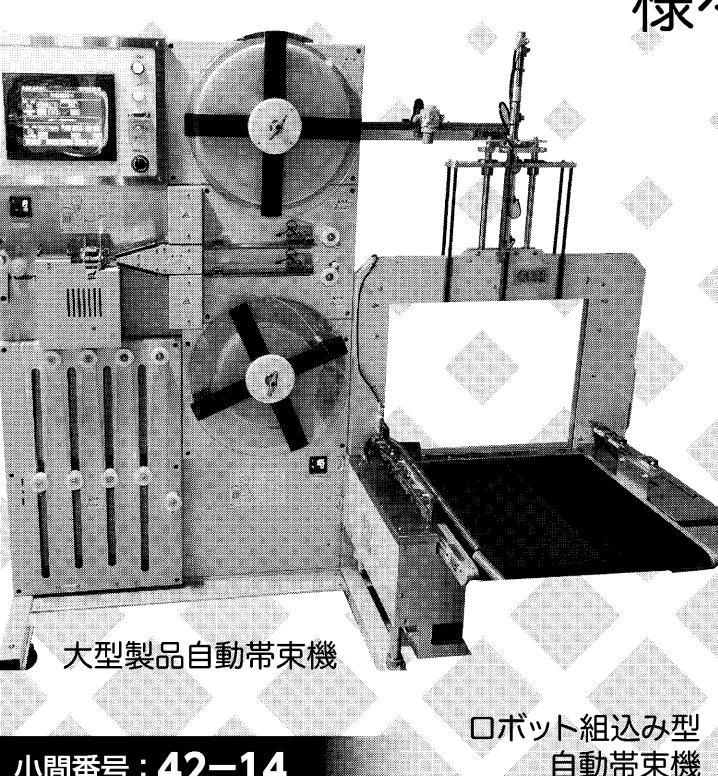
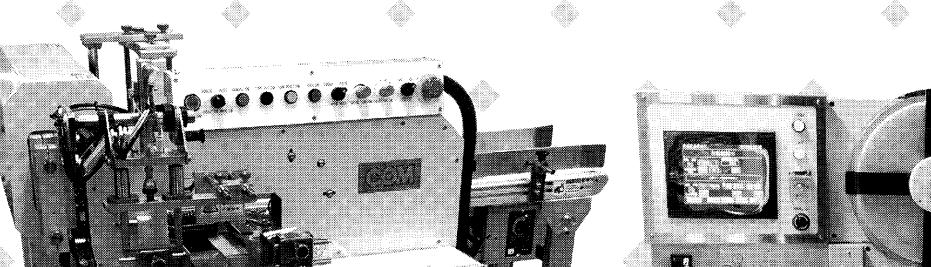
京町産業車輌は包装業界に作業の効率化を提案する。同社の「ロール反転リフトシリー」は各種フロールを持ち出して搬送し、所定の位置昇降して機械に装着するまでの作業をスピーディーかつ安全に行える。あらゆるロールの形状、寸法、重量に応じて、ロールの保持方法は紙巻き芯の内径を用いて内径チャック式やロール外径を保持する外径チャック式があり、オプションも豊富。昇降方式は手巻きと電動式で、反転方式も手動と電動を用意。大型で重いロールの移動には走行アシストする電動走行タイプが適する。同社は特殊仕様への対応やデモ依頼にも応じる。

京町産業車輌

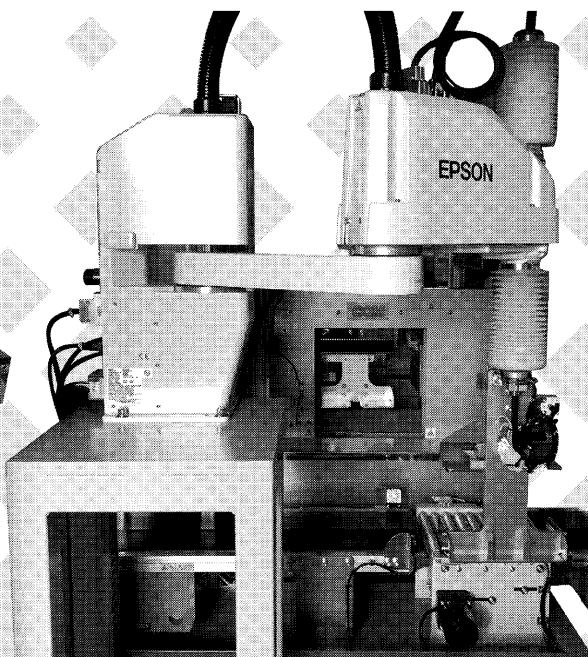
トーワクノは食品機械装置システムの開発・設計・製作を行うトータルエンジニアリング企業。展示会には環境に配慮した衛生的で知能的な食機械装置・システムの提供をテーマに「手中集積でカートン・紙パック飲料」をケース詰めする装置「e-CASER」を出品する。一列に並んだカートンのトップ部をつかみ空中集積しながらケース詰めする方式で、パックの破損が激減し、処理能力も30%アップした(同社従来装置比)。エアリランダーの使用を極力減らし、サーボモーター駆動とすることで大幅な省エネと小型化も実現。チャック部の変更により紙パック飲料以外の製品にも対応が可能だ。

トーワテクノ

新包装形態へ対応
環境負荷を低減
弁当・惣菜パックなどの簡易包装に最適

大型製品自動帶束機
小間番号: 42-14

様々な自動化に対応可能
省スペース化を実現



大洋精機株式会社

■ 本社 〒574-0062 大阪府大東市水野4-3-7
TEL: 072-873-3739 FAX: 072-875-4324
taiyo@com-machine.co.jp

■ 東京営業所 〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-5-12 船山ビル401
TEL: 03-5639-9033 FAX: 03-5639-9060
taiyoseiki.tky@chorus.ocn.ne.jp

<http://www.com-machine.co.jp>